

## 定着確認シートの活用で学力アップ！

定着確認シートは、学力向上にとっても有効です！  
しかし、活用状況はまだ十分とはいえません。その理由として、次のような声を聞くことがあります。



单元ごとのワークテストを使っているのに、なぜ定着確認シートを活用する必要があるの？



授業を進めるだけで、精一杯で、時間がないわ。それに定期テストやワーク問題など行っているから、定着確認シートを行う意味がよく分からないわ。



なぜ、福島県では、児童生徒の学力向上に向けて、定着確認シートの活用を進めているのでしょうか。国語科の観点から、考えてみましょう。



### 理由1 活用力の定着が図れる。



定着確認シートの問題は、これまで学習してきた「読む力」を活用して解くこととなります。



全国学力・学習状況調査、県学力調査、あるいは、高校入試でも、「読むこと」で提示される問題文のほとんどは、児童・生徒が初めて目にする文章です。そのため、初めての文章でも時間内で読み取ることが重要です。



## 理由2 書く力が身に付く。

定着確認シートの多くの問題は、いくつかの条件に従って、制限文字数で書くという形で出題されています。



児童生徒は、条件、制限文字数に戸惑いますが、繰り返し行うことにより、条件作文に慣れてきます。さらに、正答例と指導のポイントもありますので、教師にとっても使いやすいものとなっています。



福島県の学力調査において、会津域内の小学校5年の「書く能力」は、全国平均より **10.9ポイント**高い結果となりました。

## 理由3 指導すべき学習内容が身に付いたか、こまめに確認できる。

定着確認シートの問題は、県内の各地の先生方と指導主事が、学習指導要領をもとに、指導すべき学習内容を網羅しているか協議して作成しています。



結果を入力すると、すぐに県の平均と比較できます。落ち込んだ問題は、再指導することができます。(ショートスパンの PACD サイクルを生かした指導ができる。)

### さらに



著作権は県教育委員会にあるので、加工は自由。  
過去の問題が多数ある。  
発展的、復習的問題としても使える。  
宿題としても活用できる。  
手軽に使える。等々 利点はたくさんあります。  
まずは、児童生徒のために**使ってみる**ことが、**学力向上への第一歩**です。

